

工事・取扱説明書

保証書別添付

品名 出力制御ユニット(屋外用)

型名 エイチエスエス ワイエス ディー
型式 HSS-YS10D

お願い

- この工事・取扱説明書は、保証書とともに必ずお客様にお渡しください。

安全のため必ずお守りください

取付工事を始める前に必ずこの工事・取扱説明書をお読みにになり、正しく安全に取り付けてください。

取付工事は販売店・工事店様が実施してください。(第2種電気工事士の資格必要)

当社製パワーコンディショナとの組み合わせでご使用ください。

転居の際に、取り外し、取り付けする必要がありますので、この「工事・取扱説明書」は、「保証書」とともに大切に保管いただくようにしてください。

ここに示した注意事項は、

表示内容を見逃して誤った使いかたや設置や工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。
---	-----------------------------------	---	--

絵表示の例



「警告や注意を促す」
内容のものです。



してはいけない
「禁止」の内容です。



実行しなければならない
「指示」内容のものです。

警告

火災・感電・けがの原因になります。



● 次のようなところに取り付けない

- 雨水のかかるところ
- 湿気の多いところ
- 湯気、水蒸気のあたるところ
- 冷気が直接あたり結露するところ

● 水につけたり、水をかけたりしない

● めれ雑巾でふかない

● 分解・改造はしない

● 上に物をおかない

● 上に載ったり、ぶらさがったりしない

● 工事・点検時以外はふたを開けない



● 低圧用ゴム手袋を使用して電気配線作業を行う
感電のおそれがあります。

● 電線は端子を正しく圧着し、指定トルクで確実に締め付ける

感電・火災のおそれがあります。

注意



● 製品質量に耐えるよう強固な壁面に確実に取り付ける

取付工事をされる方へのお願い

●取付場所について下記の条件を守ってください。

- 製品重量（約6kg）に耐えられる強固な垂直壁面に水平に取り付ける
- 配線や施工および保守・点検が容易にできる場所で周囲に必要な空間が確保できること
- 箱など密閉された空間には取り付けない
- 日本国内で標高1500m以下であること
- 油蒸気、煙、じんあい、塩分、腐食性物質などが存在しない雰囲気であること
- 降雪時に雪に埋もれる場所や落雪により機器に衝撃を与える恐れのある場所、冠水する場所には取り付けない
- 塩害地域（沖縄、離島、外海の海岸から1km以内、内海の海岸から500m以内）には取り付けない
※内海は瀬戸内海を示す
- 特殊な場所（自動車、船舶など）には取り付けない
- 温度変化の激しい場所（結露のある場所）には取り付けない
- 下記の温・湿度条件を満たしていること

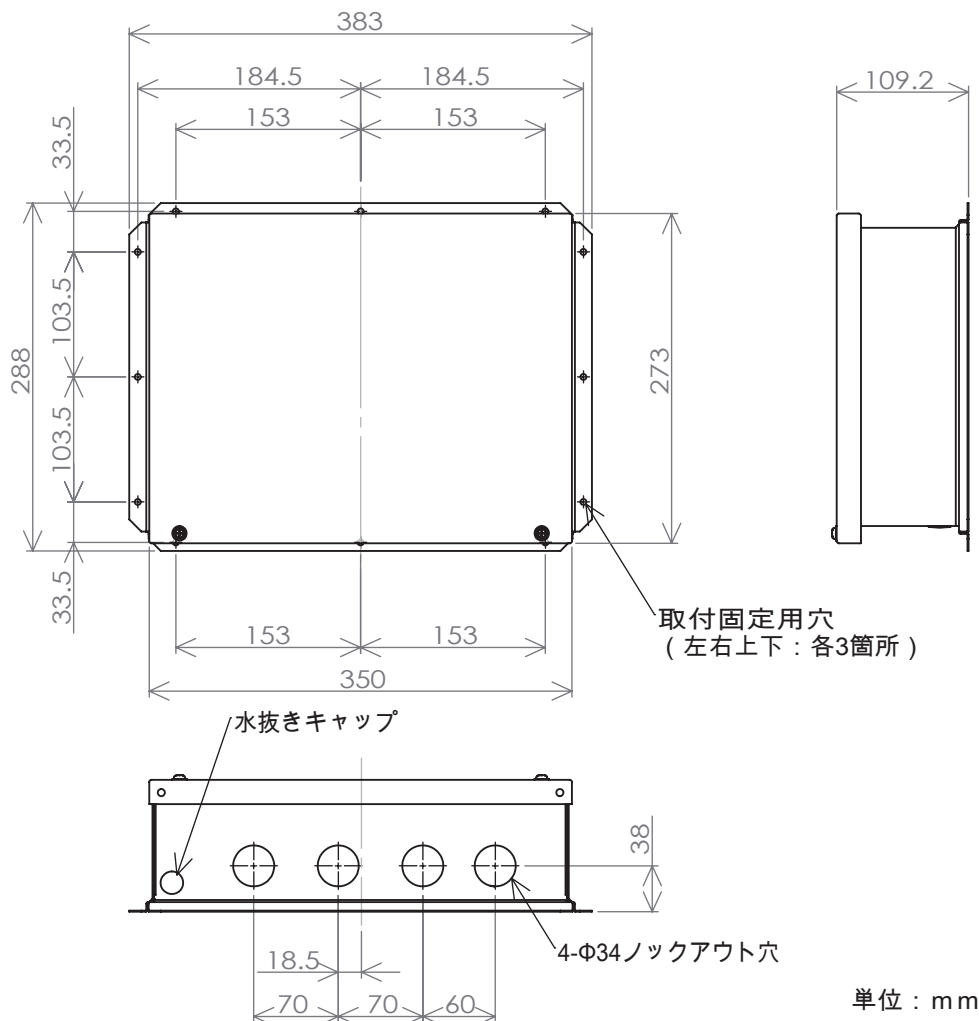
周囲温度	0℃～+40℃
相対湿度	規定しないが結露なきこと
取付場所	屋内壁面、直射日光が当たらない、かつ、軒下などの雨のかからない屋外（防水処理必要）

●配線工事中は接続されている分電盤の当機器用のブレーカを必ず「OFF」の状態にしてください。

●電線は指定トルクで確実に締め付けてください。

●接地線の接続は確実に行ってください。

取付寸法と外形寸法図



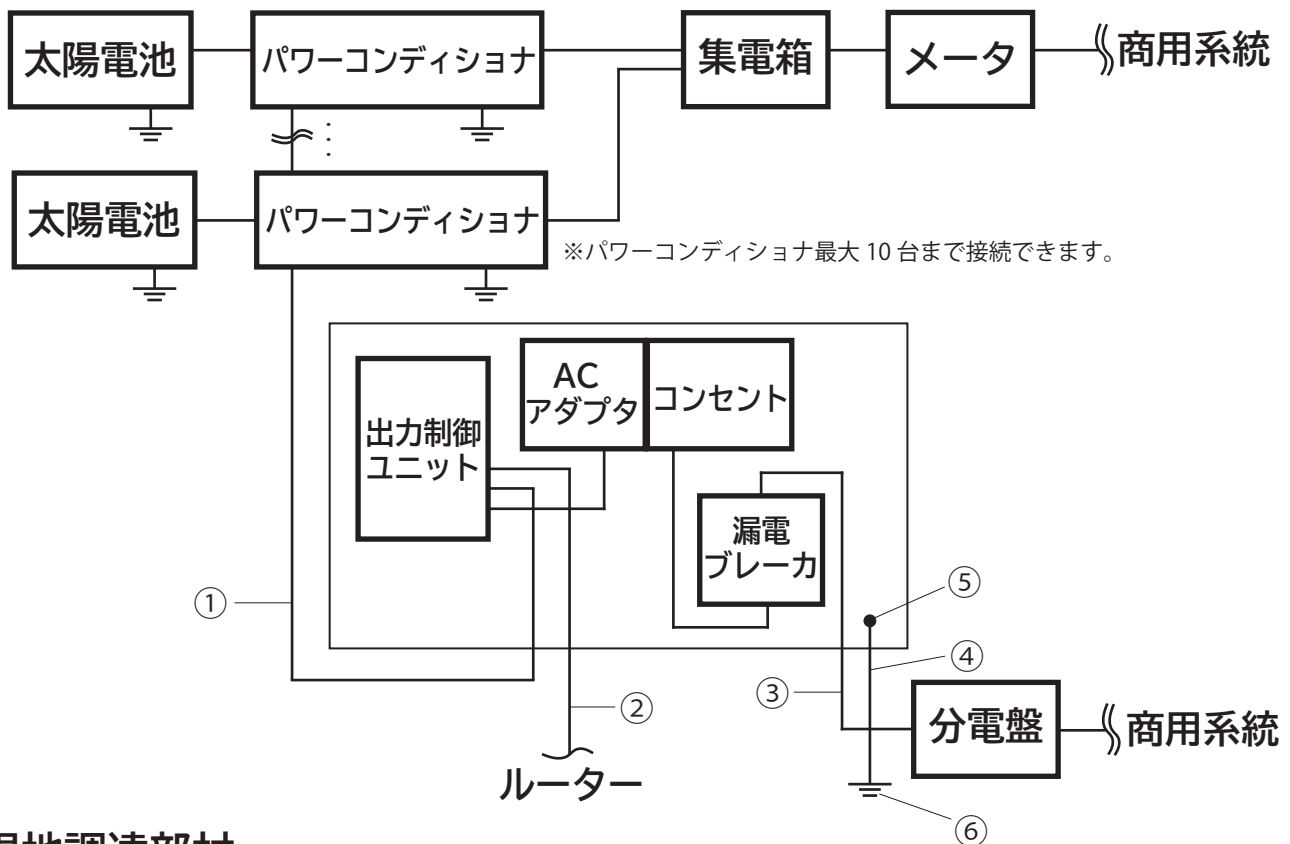
付属品の確認

●付属部品（同梱されているかご確認ください）

付属部品	個数
①出力制御ユニット HSS-Y10D（製品梱包状態）	1 台
②出力制御ユニット用収納箱 HSS-YS10DCA	1 台
③壁取付用ドリルネジ 5×50	5 本
④架台柱部取付用ドリルネジ 4×19	4 本
⑤出力制御ユニット固定台取付用ネジ M4×8	2 本

取付前の準備

●事前に下記現地調達部品を準備してください



現地調達部材

部品	仕様・用途
①通信用ケーブル	VCTF 0.3 ～ 1.2mm ² 相当 3 芯
②イーサネットケーブル	
③電源供給用ケーブル	VVF Φ1.6mm 2 芯 単線 ※より線使用時は棒圧着端子が必要になります
④接地用ケーブル	HIV もしくは IV 5.5mm ² 以上
⑤接地ケーブル用圧着端子	接地ケーブル径に適したもの
⑥接地棒	D 種接地工事を行ってください
⑦パテ（配管シール用のもの）	ケーブル引込み箇所用
⑧シリコン系シーリング材（変成シリコン）	取付板外周及びネジ部、ネジ穴部
⑨PFD 管と PFD 管取付器具（PFD 管コネクタ / サドルなど）	ノックアウト穴径Φ34 4 箇所

取付前の準備（つづき）

機械・工具（電気工事）

ニッパー	
ペンチ	
＋ドライバー	（注）
ホールソー	
圧着工具	各線径用
－ドライバー	通信用ケーブル端子接続用 刃先幅2.5×0.4mm以下

出力測定器具

テスター	直流電圧レンジ500V以上
接地テスター	

※その他、必要に応じて準備ください。

保護具

低圧用ゴム手袋	保安帽	電工ベルト
---------	-----	-------

（注）収納箱取り付け以外はインパクトドライバーを使用しないこと。

特に下記

- ・ふたの取付
- ・アース線の接続
- ・電源ケーブルの接続

取付方法

①スペースを確保する

出力制御ユニット用収納箱の周囲には、右図に示すようなスペースを確保してください。

②壁を補強する

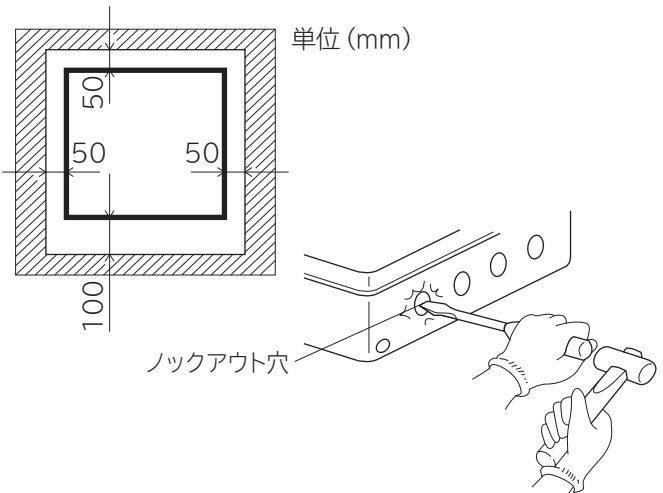
壁の強度が不足する場合は、補強板等で壁を補強してください。

③ロックアウト穴を開ける

取付位置を決め、使用するロックアウト穴をあけてください。(ロックアウト穴は、マイナスドライバーの先を当ててハンマーでたたいてください)

穴は2箇所あけてください。

- ・通信ケーブルとイーサネットケーブル用
- ・電源ケーブル用



⚠ 警告

ホールソーや電動ドリルなどで穴をあけない。
削りカスが製品内部の電子基板などに付着して、
火災・故障の原因になります。

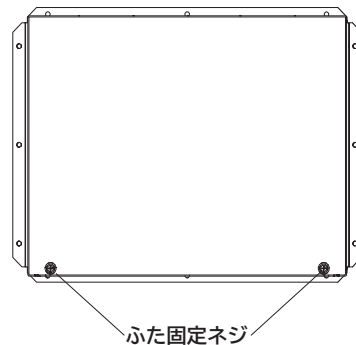
⚠ 注意

通信ケーブルとイーサネットケーブルは電源ケーブルとは別の穴を通してください。
束ねると電源ノイズによる誤動作の原因となります。

収納箱の取付

1 ふたを外す

下側のふた固定ネジ2本を外し、ふたを取り外してください。



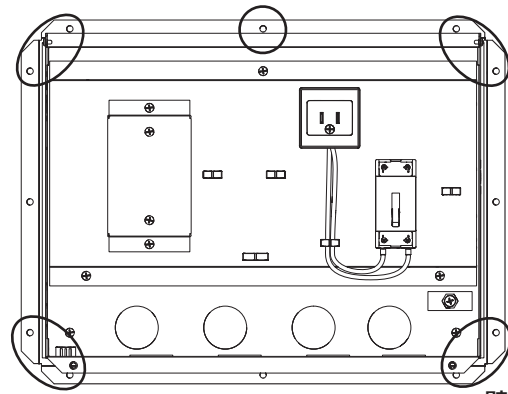
取付方法（つづき）

2 収納箱の取付

1-1 壁取付の場合

付属のドリルネジ5×50で5箇所（右図）止めてください。

※○印内にネジ用穴が2箇所あるところは、どちらか1方にネジを止めてください。

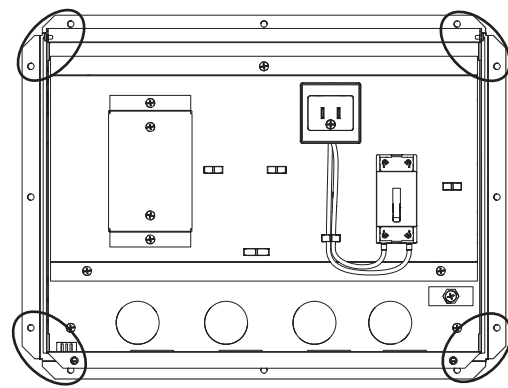


壁取付の場合

1-2 架台取付の場合

付属のドリルネジ5×19で4箇所（右図）止めてください。

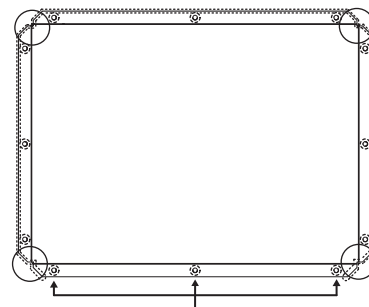
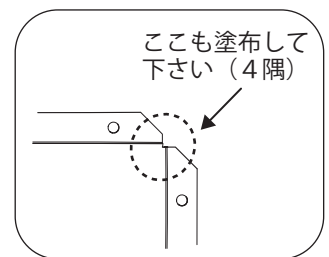
※○印内にネジ用穴が2箇所あるところは、どちらか1方にネジを止めてください。



架台取付の場合

3 防水処理を行う （壁取付の場合）

本体背面板の下側を除く、上および左右外周部と壁のすき間とネジ部および使用していないネジ穴部（下側3箇所は除く）からの水の浸入を防止するために、シリコン系シーリング材（変成シリコン）を塗布して確実にシールしてください。

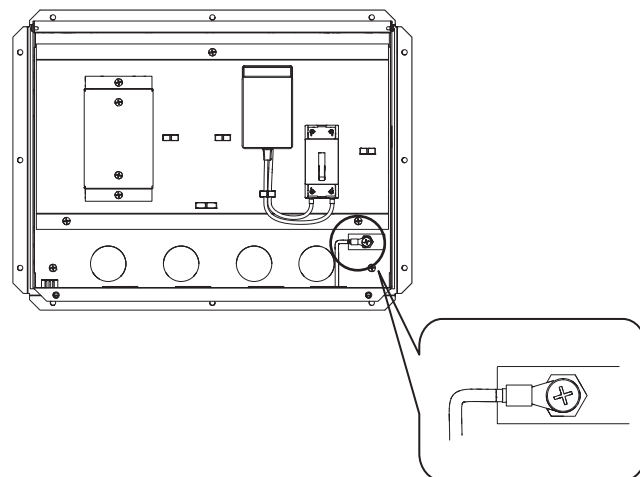


下3箇所はネジ止めに使用した場合はコーキングをしてください

4 アース線の接続

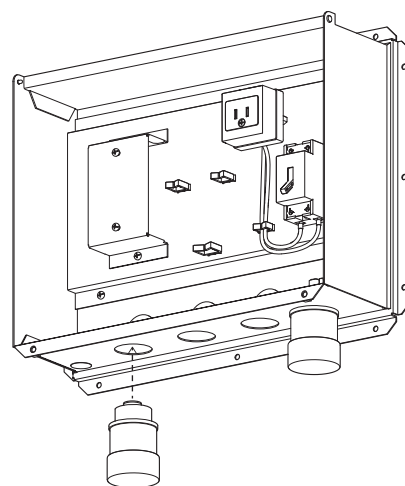
アース線をアース用端子に接続してください。

締付トルク：1.8～2.0 N・m



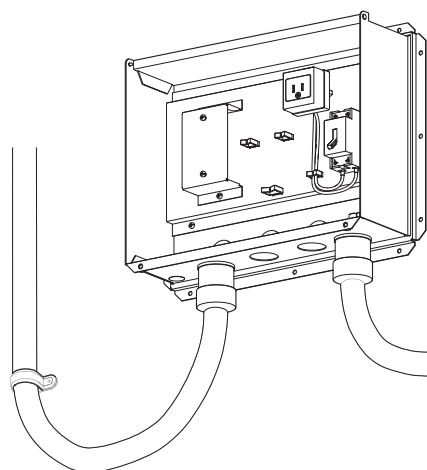
5 PFD管コネクタの取付

ロックアウト穴にPFD管コネクタを取り付けてください。



6 PFD管の接続

- ・あらかじめ接続電線を通しておいたPFD管をPFD管コネクタに接続してください。
- ・PFD管はPFD管の固定に適したサドルなどを使用し、壁面などに固定してください。



⚠ 注意

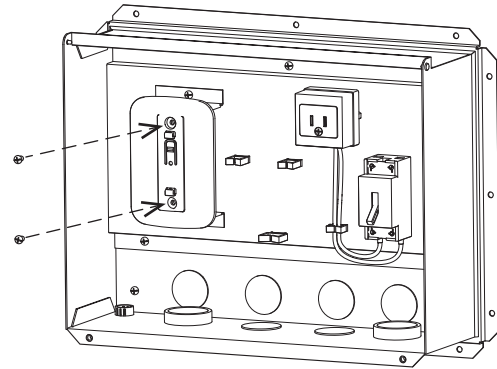
- ・PFD管端部は、水が浸入しないよう下向きに固定し、開口部のコーキングも確実に行ってください
- ・PFD管の曲げは管内径の6倍以上にしてください
- ・PFD管に水が溜まらないよう、水抜き穴を設けてください

取付方法(つづき)

7 出力制御ユニット固定台の取付

右図の場所に固定台を取り付け、付属のネジ(M4×8)でネジ止め(2箇所)してください。

※出力制御ユニットHSS-Y10Dに付属している木ネジは使用しません。



8 電源ケーブルの接続

電源ケーブルをブレーカに接続してください。

(電圧はAC100V±10Vを接続)

- ・接続作業時は電圧がかかっていない(0V)ことを確認してください。
- ・接地側がブレーカ電源の左側になるように接続してください。
- ・ネジの締付トルクは1.6～2N・mで確実に締め付けてください。
- ※より線はほぐして、芯線をそろえてから接続してください。

※より線の先端のハンダ上げやバインドはしないでください。

※電線の絶縁被ふくをかまないように接続してください。

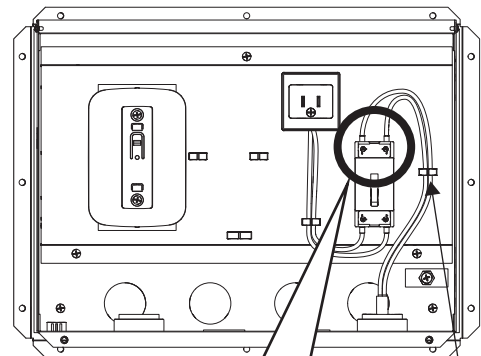
※機器用電線など、細かいより線

(1.25～3.5mm²)を使用する場合は、棒圧着端子をご使用ください。

- ・取付後、端子カバーを取り付けてください。
- ・電源ケーブルをコードクリップに通して固定してください。

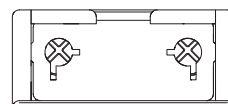
⚠ 警告

当機器用の分電盤ブレーカが必ず「OFF」の状態になっていることを確認してください。



コードクリップ

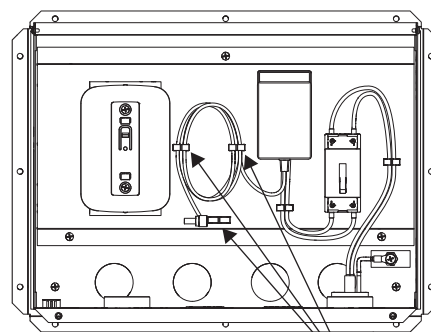
↓ 接地側



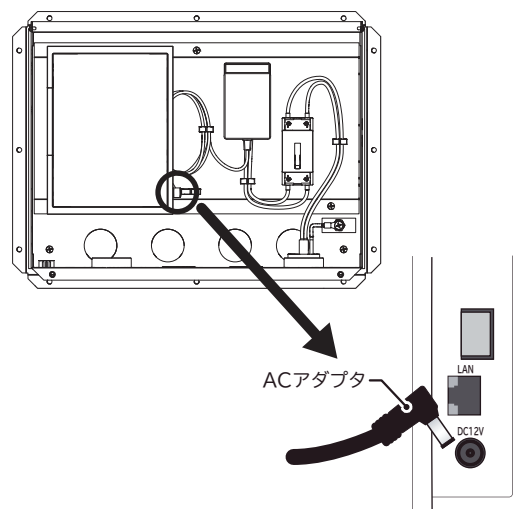
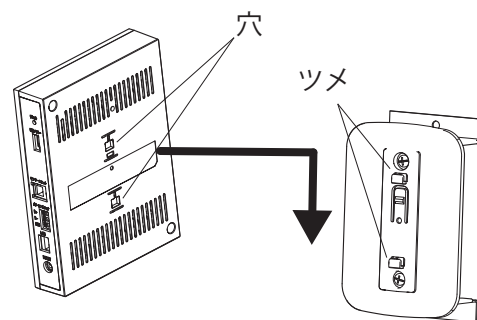
9

出力制御ユニットとACアダプタの取付

1. ACアダプタをコンセントに差し込み余ったケーブルを図のように束ねて、コードクリップに通して固定してください。
2. 出力制御ユニット後面の穴に固定台のツメを合わせて本体が浮かない様に入れて、矢印方向に[カチッ]というまでスライドさせて差し込んでください。
3. ACアダプタを出力制御ユニットの電源端子に差し込んでください。



コードクリップ



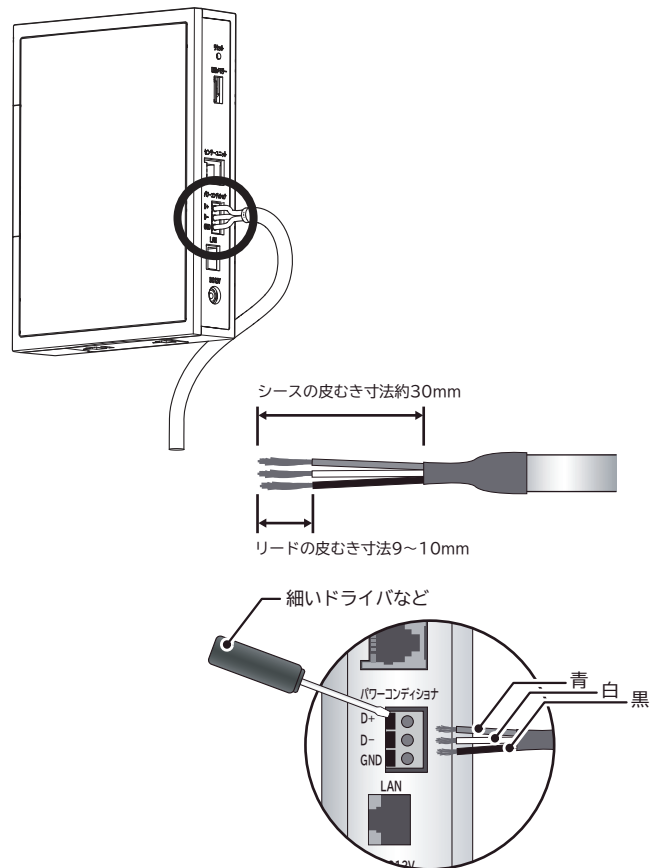
ACアダプタ

取付方法(つづき)

10 通信ケーブルの接続

通信ケーブルを出力制御ユニットに接続してください。

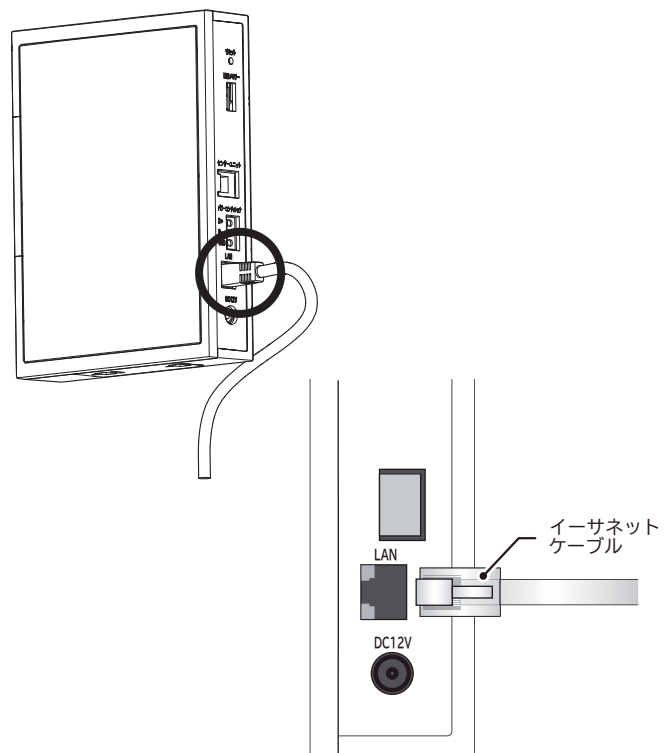
1. 通信用ケーブルを右図のように加工してください。
2. 通信用ケーブルをパワーコンディショナ接続端子に接続します。
 - ・図のような穴の左の黒いボタンを細いドライバなどで押しながら、より線を挿入してください。線の色はパワーコンディショナ側と合わせて誤挿入しないようにしてください。誤挿入した場合、通信ができなくなります。
3. 接続後、通信ケーブルをコードクリップに通して固定してください。



11 イーサネットケーブルの接続

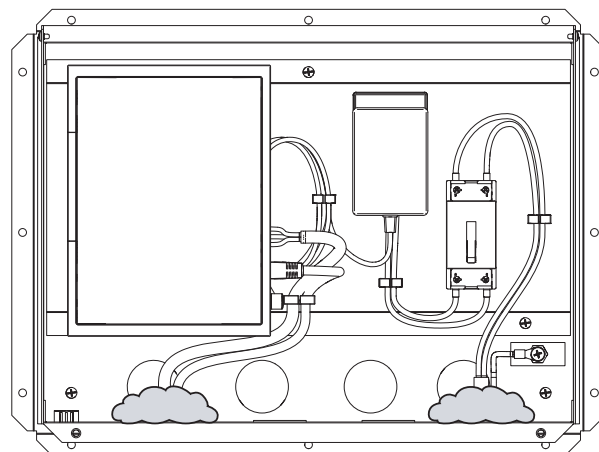
イーサネットケーブルを出力制御ユニットに接続してください。

接続後、イーサネットケーブルを通信ケーブルと同じくコードクリップに通して固定してください。



12 配線用パテ埋め

- ①配線を通した穴や周囲は、雨水・小動物が侵入しないように穴周辺を内側より配管シール用パテで埋めてください。
シールが不十分の場合、内部に水が浸入するおそれがあります。
火災・感電・漏電・故障の原因になります。
- ②機器の下面に取り付けられている使用しない配線用ブッシュの該当箇所にもすべて内側より配管シール用パテで埋めてください。
火災・感電・漏電・故障の原因になります。

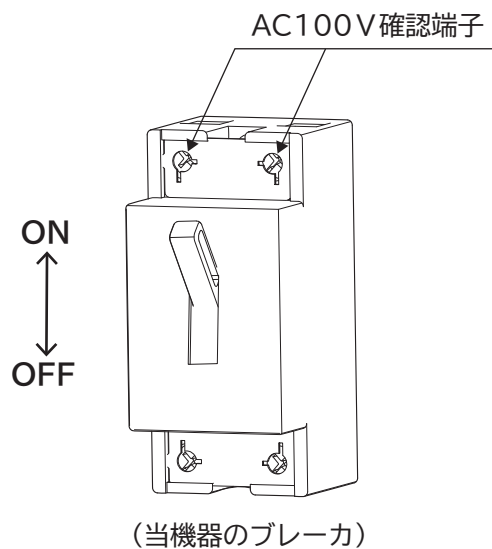


⚠ 注意

通信ケーブルとイーサネットケーブルは電源ケーブルとは別の穴を通してください。
束ねると電源ノイズによる誤動作の原因となります。

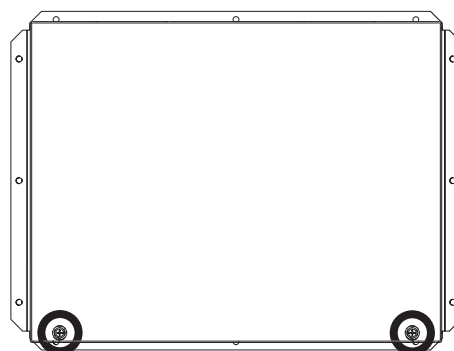
13 電源の確認

- ・分電盤の当機器用のブレーカを「ON」の状態にしてください。
- ・当機器のブレーカ端子に電圧がかかっていることを確認してください。
(AC100V±10V)
- ・当機器のブレーカを「ON」の状態にしてください。
- ・出力制御ユニット本体の電源ランプが点灯することを確認してください。



14 ふたの取付

- ・当機器のブレーカを「OFF」の状態にしてください。
- ・ふたを取り付け、下側のふた固定ネジ2本を締めてください。



取付工事後の確認

取付工事が終わりましたら、下記点検項目に従って点検してください。

点検項目

No.	点検項目	内容	チェック
1	本体外観	さび、傷、破損、変形がないこと	
2	設置状態	取付ネジなどに緩みがなく確実に設置されていること	
		保守・点検が脚立などで容易に作業ができる位置に設置されていること	
3	配線、PFD管の破損	配線に著しい傷、破損がないこと	
		PFD管に著しい傷、破損などがいないこと	
		PFD管が正しく固定されていること	
		配線引込箇所隙間に隙間などが生じていないこと	
4	防水処理	配線引込箇所が配管シール用パテで埋めてあること	
		壁取付の場合、壁と本体接触部外周（上、左右3辺）とネジ部、未使用のネジ穴部の防水処理がされていること	
		PFD管に水抜き穴が設けられていること	
5	電源線接続	電源線は緩みなく漏電ブレーカに接続されていること	
		入力電圧はAC100V±10Vであること	
6	配線処理	配線処理は余長処理など、正しくされていること	
7	接地	接地線に著しい破損がなく、確実に接地されていること	

保証とアフターサービス 必ずお読みください

■保証書（別添）

保証書は必ず「引渡し年月日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

- 保証期間は、保証書をご覧ください。

■補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合、弊社にて引き取らせていただきます。修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または下記窓口にお問い合わせください。

■修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料

技 術 料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出 張 料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

■修理を依頼されるときは 出張修理

異常のあるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

【ご連絡していただきたい内容】

品 名	出力制御ユニット（屋外用）
型 式	
お引き渡し日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も併せてお知らせください
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

■ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられない場合は、前もって販売店にご相談ください。

商品情報や修理はお買い上げの販売店へ

（ご不明な点は、下記窓口にご相談ください）

修理に関するご相談	TEL 0120-3121-68/FAX 0120-3121-87（日立家電エコーセンター） 携帯電話・PHSから 0570-0031-68（有料）
商品情報／お取扱のご相談	TEL 0120-3121-19/FAX 0120-3121-34（家電ビジネス情報センター）

- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただきます。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。

[illegible]

[illegible]

 **日立アプライアンス株式会社**

〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12 電話 (03)3502-2111